泉中央地区社協だより

泉中央地区社会福祉協議会
第 57 号（令和 8 年 6 月 20 日）

だれもが安心してよりそえる街へ

新たに 3 地区がなかまに加わりました

この春から、泉中央地区社会福祉協議会に天神沢 1 丁目町内会、本田町町内会、市名坂野蔵町内会の 3 町内会が加わり 9 つの町内会・自治会が一緒に活動することとなりました。今回は新加入の 3 つのサロンを紹介します。

天神沢 1 丁目町内会

「天神沢ふれあいサロン」



【開催日】2026 年度は 2 回ほど開催予定。
【場　所】天神沢 1 丁目集会所
【活動内容】町内会と、社協、ゆうゆうクラブが協力しながら運営をスタート。6 月は東北大学落語研究会を呼んで「落語会」を企画しています。詳しくは回覧でお知らせする予定です。

本田町町内会　「いこいの場」

【開催日】 毎月第二土曜日　9:30～11:30
【場　所】本田町集会所
【参加人数】10～15 名
【活動内容】茶話会 30 分程度
ボッチャやダーツ又はカラオケ



4/11（土）：仙台白百合女子大学で、お花見を行いました。花見期間中は大学が解放されており、恒例となっています。



出典　国土地理院

市名坂野蔵町内会　「野蔵ふれあいサロン」

【開催日】 第 2 木曜、第4木曜
【場　所】 市名坂野蔵集会所
【参加人数】15名





【活動内容】生活に身近な問題をテーマに、①特殊詐欺対策、②防災セミナー、③介護に関する講話、④栄養に関する講話、⑤医療講演会、⑥社会保障制度に関する講話、⑦フレイル予防の体操教室などを行っています。茶話会では世間話に盛り上がり、また地域の方々の情報も知ることができます。

大正琴の音色に胸焦がして

市名坂町内会　佐藤　紀子

今回は大正琴を楽しんでほしい、と「すいせんの会」の皆様による演奏会を企画しました。当日は幅広い年代の方が足を運び、久しぶりに顔を合わせた人たちや初めて顔を合わせる方々が、演奏をきっかけに自然と会話が生まれ、世代を超えた交流の輪が広がり地域のつながりの大切さを改めて感じる機会となりました。







曲は昭和の良き時代の「いつでも夢を」「上を向いて歩こう」など懐かしいものです。聴き入る方々は琴の弦が震えるようなもの悲しい美しい旋律に酔いしれ、若き日を思い出したかのように口ずさんでいました。いつまでもその音色が続いてほしい、と夢見る乙女となって、心豊かなひとときとなりました。歌声とともに穏やかな時間が流れ、音楽が人と人とをつなぐ。このような誰もが気軽に集い笑顔になれる場を大切にしていきたいと思います。

櫻井良一先生の陶芸教室

泉中央第一町内会　宮崎　吉輝

4月22日（水）10時～参加人数は11名。そのうち10名が昨年の参加者ということもあり、先生のお話が終わるとそれぞれ早速製作にとりかかっていました。粘土をたたら板の間に置き、めん棒で均一に伸ばす人。手回しろくろの上に粘土を置き回転しながら器を作る人。中には、製作予定の「釜神様」の画像をもとにパーツを作り合わせている人もいました。製作を続ける中で先生に作りたいものを伝えて、具体的な指導を求める人もいます。

今回は、器の底につける高台の分の厚みをつけるための工夫に興味が集まりました。高台を削りだすのは少し乾燥させた後、先生にしていただくのですが、そのために器の底に7mm 程の厚みをプラスして形成しなくてはなりません。初心者にはなかなか難しい感覚です。その辺も丁寧に指導していただきました。

一時間ほどで成形が終わり、片付け清掃もみんなでてきぱきと行い、さすが2年目の教室だなと思いました。焼き上がりは7月の予定。今から次回の鑑賞会が楽しみです。







■街の風～編集後記～

七北田町内会　野元　三恵子

ある老夫婦の家を訪ねた時、軒先の風鈴が風に揺られて優しい音色を奏でていた。今時、めずらしいな…と思いながら、ふと小さい頃を思い出していた。

遊び疲れて大の字になって畳の上でお昼寝。風鈴の音がちりーん…ちりーん…。ときおりおぼろげに聞こえる優しい音とやわらかな風を感じて目が覚めると、私をうちわで扇ぐ母の姿。体が冷えないようにと、お腹には少し大きめのタオルがかかっていた。「スイカ食べる？」「うん！食べる」と返事をして起き上がる。そんな何気ない夏休みの夕暮れ時。

もう、ずいぶんと昔のことだけど優しい音色が思い出させてくれた夏のひと時だった。

この広報紙は福祉振興助成金を利用しています